



高島学園

中学校だより【第12号】

令和5年11月2日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

下半期（1/6） 10月充実の日々

行事が多い10月でした。日々の生活で身につけた力を、学校内外の行事で発揮する生徒の姿には頼もしさや力強さを感じ、確実な成長が見られます。

マイ・シティ（6日）、第2ステージの児童生徒が地域に貢献したい思いで活動しました。その反響が多く届いています。乙女が池の表示板は写真スポットとなり、SNS上で話題です。



秋季総体(20日)、8年生を中心にそれぞれの部が躍動しました。女子バレーボール部ブロック1位、男子バレーボール部湖西ゾーン3位、バスケットボール部Cゾーン1位、と大変良かったです。

陸上競技部やテニス部も全力を尽くしました。試合中の集中する、真剣な様子にすごさを感じました。困難な状況にもあわてず、前向きに頑張ったのは大きな成長の姿です。



マラソン大会(25日)、皆が自分の持っている限りの力で走り切りました。途中で誰もが「歩きたい」「止まろうか」などと思うものですが、自分と葛藤しながらの力走でした。終わってから「もう少し走れたかもしれない」と悔しそうに話した生徒もいます。

自ら自分を振り返っています。これからの生活に必ず生きてきます。

仲間を迎える拍手が、とても温かく高中のつながりを感じるマラソン大会でした。



下半期（2/6）11月が始まります。大きな行事としてはブロック駅伝(8日)があり、放課後、猛練習をしています。9年生は、いよいよ進路に向けて本格的に進めていき、併行して定期テスト(21日)が行われます。自分の力を最大限に発揮するテストにしてほしいものです。8年生は次の生徒会組織について考え始めました。8年生も頼もしく成長してきたことから、新しい学校づくりに向けてとても期待をしています。7年生は大変落ち着いていて、もう第3ステージかと感じるほどの生活態度です。8年生の良きサポート役になるでしょう。保護者の皆さん、「一日ひと褒め」を含め、ゴールに向かう子どもたちのさらなる成長に向けて、ご支援よろしく願います。

地域の皆さんが「楽しい」学校！これぞCS

☆ファーム・ラボ(実験室)がオープン！

ファーム（畑）がラボ（実験室）に進化しました。種から蒔いた大根や人参ですが、たくさん芽が出て、ぎゅうぎゅうに育ってきました。そこで、横田さんが実験的に少しずつ方法を変えて間引きをしてくださいました。どれが一番よく育つのか楽しみです。



枝豆も
できました。

ファーム日誌の
記録中です。

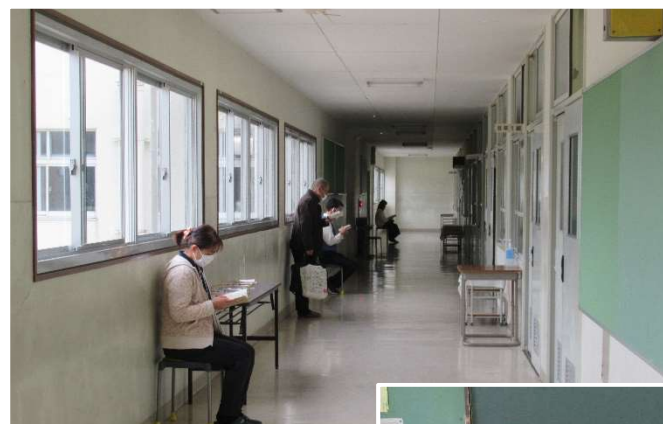


「中学生がいてくれて助かりました」

寺カフェ流泉寺の上野さんの言葉です。多くのお客さんの接客やカフェの裏方、出店されたお店の手伝いで大忙しの日でした。中学生が地域の方と一緒にあって、「町興し」に貢献しました。



朝読書 高中の一日の始まり



朝、保護者と地域の方が来てくださり、廊下で本を読んでくださっています。そっと、朝読書の時間を共有して下さることが学校全体の落ち着きにつながっています。写真のように素晴らしい姿勢で読む生徒も増えてきました。

『朝読書が奇跡を生んだ』昨年で紹介したことですが、朝読書は学校を変えられています。高島中も変わりました。県教育委員会から来られた方や社会科の研究授業を見に来られた方が非常に良い学校だと言って帰られました。日々の生活や学校行事から確かにそう言えます。

毎朝、残念ながらパーフェクトだと言えないのですが、11月になり、90%を超えて読書をしています。ご家庭で、読んでいる本や読書について会話をしてやってください。一緒にパーフェクトを目指しましょう。